

2022年度 敬愛大学 教育学部 こども教育学科

学校推薦型選抜（公募推薦）小論文課題 （800字以内）

2019年3月に新学習指導要領が公示され、子どもが主体的に学ぶことが重要となった。主体的な学びを引き出す条件として、動機付け・価値・期待があげられる。この条件の中の期待とは、やれそうだという期待のことで、「自己効力感」\*とも関係があるが、日本青少年研究所が2008年に実施した国際調査によれば、日本の子どもたちの自己効力感は相対的にみて低いことが明らかとなった。

以上のことを考慮すると、主体的に学ぶ子どもたちを育成するには、自己効力感を高めていくことが大切となってくる。そのために、教師は学習面においてどのような指導を行っていけばよいか、自分の経験を踏まえて考えを述べよ。

---

\*「自己効力感」とは、Bandura（1977）が唱えた概念で、人が何かの課題に対処するとき、それをどのくらい効果的に処理できると考えているか、という認知のことである。簡単に言えば、何かの行為に対して「自分はうまくできる」という、自分の能力についての期待や自信・確信のような感覚のことを指す。